



〈 連載 (153) 〉

## 淀川舟運復活の動き



大阪府立大学大学院・海洋システム工学分野・教授

池田 良穂

**河**川を交通に再活用しようという動きが活発化している。大阪でも、淀川流域の自治体等を中心にして舟運復活の可能性がいろいろと検討されており、筆者もその1つに引っ張り込まれつつある。今までは海の船ばかりに興味をもっていましたが、川の船もなかなか面白そうだ。大阪市内は八百八橋と言われるとおり、河川が街なかを通り、少なくなったとはいえ今でも船が行き来をじており、大阪水上バスが観光船を定期運航している他、貸切のレストラン船を運航する会社等もある。

筆者は、この大阪水上バスの観光船には幾度か乗船した経験がある。大阪市内を川から見上げて見ると、いつもの光景とはまったく違っていてなかなか面白い。関西国際空港の水上アクセス検討の委員会に参加した時には、ボートで大阪の淀屋橋から大阪港まで見学した。この時には橋の高さがずいぶん低く、大型船の運航はなかなか難しいことが分った。

しかし、少し前のNHKの朝ドラ「やんちゃくれ」の舞台になったような古い造船所や内航船の船着場を思わせる風景をたくさ

ん見ることができて嬉しかった。

また、ずいぶん前のこととなるが、土木学会の見学会で京都から大阪まで淀川を下る川くだりを体験したこともある。この時には、途中何度か船底が川底につかえて動けなくなり、船頭さんが総出で船を引っ張っていた。年間を通じて水位が十分確保できなければ、本格的な舟運復活は難しいとの印象をもった。さらに、護岸の多くはコンクリートで固められた殺風景なもので、同じ風景が長く続くから次第に飽きてきてしまう。もう少し見所をつくらないとお客さんには受けないのではないかと思った。

**日**本の川は長さも短く急流が多い。このため、陸上交通の整備が進むにつれて、河川舟運は急速に衰退をし、欧米のように河川が交通や物流の幹線のひとつとして生き残ることはなかった。しかし、再び舟運が脚光を浴びようとしている。はたして陸上交通機関と対抗して十分な競争力があるのか、利用者にとっての魅力があるのか等、不安材料は山積みだが、フィージビリティ・スタディをしてみることは無駄ではな

さそうである。

そんな気持ちになってみると、結構、舟運関連の記事などにも自然と目が行くことになった。3月末に手元に届いた雑誌「世界の艦船」には、淀川と琵琶湖を結ぶインクラインがグラビアページで紹介されていた。今は使われなくなっているが、公園として保存されており、見学ができるようになっているとのこと。

4 月はじめに京都に一泊した。宿泊したのは、嵐山にある「花のいえ」という学校共済の宿泊施設。この宿に到着してその由緒を書いた案内を見て驚いた。この宿はもともと京都と上流の亀岡とを結ぶ保津峡を開拓して、その舟運を可能にした人の邸宅跡とのこと。たいへん興味をそそられて、翌日は嵐山からトロッコ電車に乗って亀岡まで行き、そこから船での保津峡下りを体験してみることにした。

平日であったが、天気もよかったせいもあり、保津峡下りの船乗場は観光客で溢れていた。そして乗客を満載した船が、それぞれ3人の船乗りによって操られて次々と出発していく。京都の嵐山まで約1時間半の行程で、途中急流の個所がいくつもある。使用船はFRP製の極めて軽く造ったもので、これは嵐山に到着するとクレーンでトラックの荷台に3隻ずつ積み重ねられて、亀山の船乗場まで陸送されるためである。

かつては、この舟運は、米などの農産品や北山杉の搬送などに使われたのだそう。川はくねくねと折れ曲がり、まわりは険しい山また山である。このように山深い地であったから、現在のような道路ができるま

では、舟運なくして重たい物の輸送はできなかったであろうことは容易に想像できた。現在では切り出された杉もヘリコプターで吊り下げて運ばれていくのだそうで、かつては物流を担っていた舟運は今ではもっぱら観光用となっている。

急流となっている所には、ちょうど船の幅より若干広い水路が掘られ、横の岩にぶつからないように、巧みな櫂捌きと棒使いで見事に船はすり抜けていく。

川下りも終わりに近づいて静かな水域にやって来ると、物売りの船が近づいてきて接舷して飲物や食べ物を販売。淀川の三十石船の乗客に食べ物を売っていたという「くらわんか船」のようだ。

川の水自体はそれほど汚れてはいないが、岩のあちこちにビニール袋が絡みつき、流れの緩い岩陰にはペットボトルも浮いている。これだけが残念であった。

この保津峡の流れが、桂川、淀川と流れて大阪湾へと注いでいる。確かに、この自然の恵みを物流や観光にも利用をさせてもらうことも、地球環境全体を考えたときには必要なことかもしれない。兩岸に咲き乱れる桜を見ながら、そんな思いを強く持った。

